

MEJ NEWSLETTER

VOLUME 7

February

2025



■ 藤田医科大学 羽田クリニック 活動長寿研究センターセミナーに参加してきました

美味しそうな香りに引き寄せられ、1月初旬、藤田医科大学 羽田クリニック※(以下:藤田羽田クリニック)が主催する医療インバウンド促進のための渡航支援企業向けセミナーへCS広報部が取材という名目で参加してきました。藤田羽田クリニックでは、渡航支援企業向けにクリニックや各診療科の強みを周知するセミナーを行っており、今回は活動長寿研究センターの回でした。活動長寿研究センターでは、料理体験&健康的な食事を学ぶセミナーを開催しており、今回はその料理教室の説明と、臨床栄養学講座 主任教授の飯塚勝美先生による「活動長寿プログラム」について深掘りさせていただきました。



キッチンスタジオは、少人数での料理教室に非常に適したサイズ感と間取りです。スタジオに入ると良い匂いが漂い、窓からはきれいな景色もみることができ、まさに五感に優しいプログラムを彷彿とさせます。

活動長寿研究センターの提唱する「活動長寿」とは、藤田医科大学が造語した言葉で、いわゆる健康長寿と近い概念になります。「食事・運動・睡眠のどれかひとつが欠けただけでも活動長寿は成功しない」と、飯塚先生は説明されます。本プログラムでは、通常の血液検査では分からないビタミンの欠乏を測定できたり、食べる速さを計測するオリジナルの方法を用いたり、歯科医による口腔フレイルのチェックなど、多岐にわたる検査項目が用意されており、健康を維持しながら生活を楽しめるライフスタイルを一緒に考えていくことができます。



料理教室では、有名フランス料理店などでシェフをされていた山縣 類氏を学校法人藤田学園の総料理長として迎えられ、飯塚先生の監修のもと、山縣総料理長と開発されたレシピの調理を体験ができます。と言うのも、藤田学園の理事長である星長清隆先生が「体験することが大事」と世界に先駆けてキッチンスタジオを作られ、座学だけでなく、その場で体験することで、目で分かる・食べて覚えるという体験を重視したユニークな教室となっています。料理教室の後にはレシピをお渡しすることで、家に帰ってからも継続することが出来ます。管理栄養士・総料理長・医師のコラボが為せる世界に類を見ないプログラムだと感じました。

このプログラムは、渡航受診者向けのレシピも開発されており、多くの人にとって重要な「食」を一番身近な医療にしていこうというMissionのもと、医療インバウンドの新しい強みとして、渡航支援企業に紹介されました。参加された企業からは、健康に関する質問が多くあがり、「食」というテーマのもつ魅力を改めて感じました。



左から山縣総料理長、飯塚先生、管理栄養士 和田氏



料理教室のお料理(試食として寒天ゼリーがふるまわれました)



さいごに、渡航支援企業へ向けて、飯塚先生よりメッセージをいただきました。
 「健康のためには食事・睡眠・運動が大事です。食事に関しては3食バランスよく食べるのが大変です。このプログラムでは、普通の施設では体験できない食事のクセを個人で定量的に測ることができたり、実際に食事を作ることから学ぶことができたりします。通常の栄養指導では、座学で終わってしまうところを、体験を通して五感に訴えかけて勉強できる機会は世界を探してもあまりない面白い企画だと思いますので、是非多くの方に広めてください。」

※藤田医科大学 羽田クリニック・・・2023年10月に藤田医科大学東京先端医療研究センターが羽田空港の近くにオープンしました。同センターの診療部門として、「羽田クリニック」があります。ここで行われている医療サービスは「予防医学」と「治療」に大別され、いずれも最先端の研究に裏づけされた知見や医療技術が活用されており、教授クラスの医師から直接、説明を受けられることがほかの医療機関には見られない大きな特徴です。

[※クリックでPDFを開きます](#)



活動長寿パンフレット



国内向け調理教室のご案内 ※インバウンドは別の料金設定となります



2025年1月20日、株式会社JTB(以下:JTB)を渋谷理事長が企業訪問しました。

まずはじめに渋谷理事長より、MEJの取り組んでいるインバウンド事業の現状と経済産業省へ「インバウンド領域におけるワンストップ機能」を提案したことを踏まえ、2025年は医療インバウンド受入成功モデルの構築に尽力していくことについて報告しました。

JTBからは、サプライチェーン・医療機関・コンテンツの3つの観点から、医療インバウンドの現状におけるJTB視点での課題整理についてご説明いただきました。

まず、サプライチェーンの観点では、国内外の医療機関や海外エージェントの課題、患者自らが想定しているパシエントジャーニー、日本国の医療制度、そしてそれらの間に立つ日本の医療コーディネーターがどうあるべきか…などあらゆる視点からこれらの中にあるギャップを考えて解消していかないと、インバウンド領域の拡大・発展に繋がらないだけでなく、トラブルのもとになりかねないことが共有されました。

次に、医療機関の観点では、総合病院・公立病院・私立病院・クリニック(健診・免疫・美容・歯科)など様々な施設があるのに一律的に「とにかく医療インバウンドを受け入れよう」となって推進されているイメージがあり、それぞれの状況に合わせた受入対応方法・整備が必要だという話をされました。

最後に、コンテンツの観点では、旅行業においても質と量を同時に追い求めていくとは至難であることを踏まえ、質＝「高度医療」と量＝「予約枠・多人数の同時受入・低価格等による渡航者数増」と過程した場合、医療インバウンドでも同じことが考えられ、それぞれに戦略を考慮し考慮しないといけないことについて話をされました。

渋谷理事長からは、JTBの話しに加え、「業界が自分たちで質を担保する仕組みを作っていかなければいけない」との考えを示し、MEJは、会員と協力してその仕組みづくりに尽力していきたいと述べました。

JTBでは、先ほどの3つの観点を視野に入れながら、医療機関と受入のルーティーン化を目指し、これまでオペレーションフローの整備など時間をかけて向き合っていると思います。今後、このことが一つ一つ確立していくと、医療機関への送患がぐっと増えるのではないかと感じました。

MEJは会員の皆様を始めとしたステークホルダーに、有益・有用な情報を適宜発信していく役割を目指しています。『世界から日本の医療インバウンドの情報発信源といえばMEJ、ここにアクセスすれば必要な情報がある』というポジションを目指し、今後もJTBを始めとした会員の皆様に協力していきたい旨をお伝えしました。

最後にJTBからMEJへ、昨今問題となっている偽造滞在への対策の必要性についてご要望をいただきました。加えて、今後海外へ発信するプロモーションに国の予算が必要なこともお話いただきました。MEJでは引き続き関係省庁へこれらの要望を伝えてまいります。



■ 第21回CII(インド工業連盟)ヘルスサミットに登壇しました

2024年12月19日、第21回CII(インド工業連盟)ヘルスサミットにおいて、日本人スピーカーとして初めて招待を受け、インド保険大臣に続き渋谷理事が基調講演を行いました。CII主催のインド&日本医療産業協力ランチ会では、インドの医療産業幹部15名と、日本の医療産業代表6名が参加し、ネットワーキングを深めてまいりました。

2025年1月にもデリーを再訪し、CIIヘルスケア委員会との再会合を行いました。CIIだけではなく、医療機関や医療機器企業、高齢者施設なども訪問し、インドの熱量を肌で感じました。4月のME-Indiaのイベント開催に向けて、邁進してまいります。



■ 第9回再生医療産学官連携シンポジウムに登壇しました



2025年1月22日、第9回再生医療産学官連携シンポジウムにて再生医療のアウトバウンドとインバウンドというテーマで渋谷理事長が登壇いたしました。MEJの進める医療の国際展開戦略について、アウトバウンド・インバウンドそれぞれでの取り組みについてお話させていただきました。続くシンポジウムでは、日本再生医療学会から澤芳樹先生・FIRMから畠賢一郎先生をモデレーターとし、経済産業省の下田裕和氏と藤田医科大学の榛村重人先生と共に、切り込んだ内容で再生医療の現状と今後について白熱した議論を交わしました。

■ 今後の大きなイベントのお知らせ

- 3月18日:2024年度第2回インバウンド委員会・アウトバウンド委員会(省庁による勉強会あり)
- 3月22日:108軍事中央病院にて開催されるシンポジウムに渋谷理事長が講演予定(ベトナム)
- 3月27-28日:タイ・コンケンで開催されるISAN Wellness Summitに参加及び日本パビリオン出展予定
- 5月13日:Vision Meeting 2025

※1月30日に開催したME-Thailandセミナーに関しては、来月号で特集させていただきますので、お楽しみに！

編集後記

皆様こんにちは、山口です。先日、会員の方に教えていただいて会社の近くにある「豚の子」という二郎インスパイアのラーメン屋さんへ行ってきました。私は油ギッシュなラーメンをこよなく愛しており、主に「二郎系」「家系」が好きでよく行っているのですが、まさか会社の近くでこんなにおいしいラーメンを食べられるとは思っていませんでした。医療業界にいる手前、本当は食べたらいけないとわかっているのですが、ついつい足を運んでしまいます。いつかジロリアンのように、会員の皆様がMEJリアンとして、ついつい帰ってきてしまうような場所にMEJがなればと心から願っている最近です。

